

2027統一地方選挙 県議会議席複数奪還へ

県議選予定候補(第一次)を発表

日本共産党愛知県委員会は4日、県庁で記者会見し、2027年4月に行われる統一地方選挙の前半戦の県議会議員予定候補として、現職のしもおく奈歩県議(38)・豊橋市、新人のかわえ明美県書記長(60)・一宮市を発表しました。



しもおく奈歩氏(現)

かわえ明美氏(新)

愛知県は、東京都に次ぐ財政力がありながら、東京都が実施している学校給食費無料化のための補助(東京は7/8を都が補助)や、加齢性難聴者への補聴器購入費用の補助(都が7万2千円補助)などの施策をまったくやっていない、県民のくらし・福祉に冷たい県政です。

その一方で、IGアリーナの建設などの大型開発や大企業には手厚い県政です。それを支えているのが日本共産党以外の「オール与党県政」です。

日本共産党愛知県委員会は、この県政の実態を告発し、くらし優先の県政に転換するため、豊橋市のしもおく県議の議席を絶対に守りぬき、必ず複数議席を取り戻すために、一宮市での議席獲得に挑戦します。

大きなご支援を心からお願いします。

かわえ明美 予定候補からのメッセージを紹介します



こんにちは、かわえ明美です。2027年4月に行われる統一地方選挙で一宮から愛知県会議員選挙に挑戦します。

愛知県は、東京都に次ぐ財政力を持っています。ところが、IGアリーナの建設など大型開発や大企業には、多額の税金を使いながら、県民の暮らしや福祉にはお金をまわさない冷たい県政です。

先日、地域を訪問していたら、補聴器のことが話題になりました。「片耳40万とか50万とかするよ」といわれ、びっくり。市民の皆さんのかえをとりあげ、日本共産党市議団が議会でも要求する中で、昨年の7月から住民税非課税世帯には片耳3万円が助成されることになりました。

しかし、東京都は23区のうち4つの区で、住民税非課税世帯は片耳14万4900円が助成されています。これは、東京都が、そのうちの半分、7万2450円を助成しているからです。ところが、愛知県は補聴器への助成がありません。全国で2番目の財政力をもつ愛知県がくらしを守る県政に変われば、一宮市民のくらしも変わります。

ひこさか和子市議、わたなべさとし市議とともに力を合わせ、全力でがんばります。どうぞよろしくお願いします。

県政を変えれば、市民のくらしを

支える財源が生まれます

一宮市では、今年10月から18歳までの通院の医療費窓口負担がなくなり、通院・入院ともに18歳までの医療費窓口負担がなくなりました。

しかし、愛知県が補助している子どもの医療費は、通院が小学校まで、入院が中学校までとなっており、それ以上の子どもの医療費窓口負担の部分は、自治体の負担となっています。

愛知県として18歳までの医療費負担を0にすると決めれば、自治体の負担している部分がなくなり、その分市民のために使える財源が増えることにつながります。国政・県政を変えて、市民のくらし向上につなげていきます。

読者のみなさまへ 次回の「シャトル」は休みます

防災対策は日頃の備えと自助・共助・公助で

11月2日、消防団観閲式が行われました

11月2日、尾西河川敷グラウンドにて、一宮市消防団の観閲式が行われました。観閲式は、地域防災の中核を担う消防団員の士気高揚を主眼として、市長が人員・機械器具を観閲し消防活動の万全を期すため実施されています。当日は、消防団員定員605人のうち304人、消防車両24台参加でした。68名の方が表彰されました。

来賓の国会議員からは、市民と立憲野党の統一候補として小選挙区で勝利した、立憲民主党の藤原のりまさ議員が来賓挨拶を行いました。

消防団員の訓練が地域住民の安心と安全につながっていると改めて感謝！

大徳連区の防災フェスティバルに参加しました

翌日11月3日には、大徳連区自主防災会連絡協議会と大徳連区自主防災リーダー会の主催で、大徳小学校にて「大徳連区防災フェスティバル2025」が行われました。

屋外では、「スマートンネル」「消火器マトあてゲーム」「AED心肺蘇生」「簡易担架と応急処置」などのブースがありました。

また屋内運動場では、「段ボールベッド組立」「簡易トイレ体験」「防災ビデオ視聴」「持ち出し品重さチャレンジ」「備蓄品展示」などのブースが行われ、町内会ごとに分かれ、「学ぶ・触れる・備える・行う」企画になっていました。

屋外運動場北側には、「炊き出し体験」のブースもありました。

市から借用の段ボールベッドとパーティション展示

屋内運動場内の段ボールベッド組立のブースでは、市から借用した段ボールベッドとパーティションが展示されていました。写真左側の段ボールベッドが、



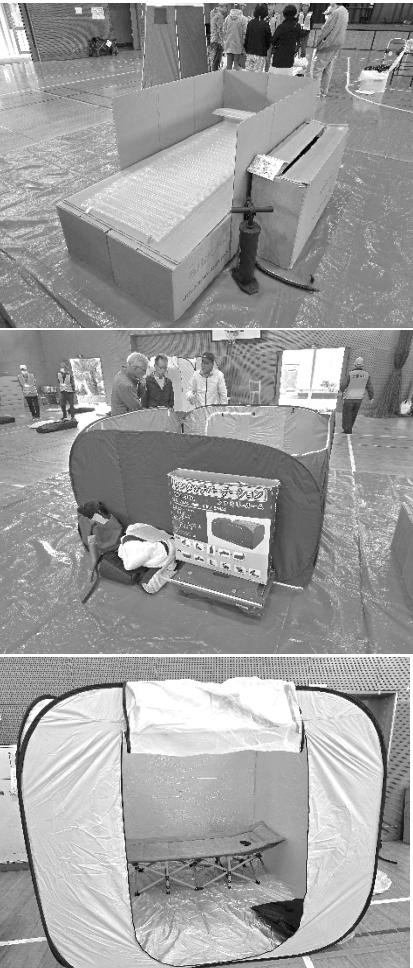
来賓あいさつする藤原のりまさ氏

右の段ボールにすべて収まるようになっています」ということでした。エアマットもセットになっており、クッション性も適度に保たれています。パーティションも展示されており、腰程度の高さまで目隠しがされるものになっています。

大徳連区では独自にパーティションとベッドを用意していることでそれらの品も展示されていました。

連区のパーティションとベッドはかなり快適で、各地域で事前の備えが大事だと強く感じました。通常時(平時)は、しっかり公が支え、災害などの際には公助が行き届くまで時間を要することから、自助・共助が必要です。自治体として備えることにも力を尽くすよう求めながら、このような取り組みにもかかわっていきたいと思いました。

防災ビデオの中で、「地震などの際に家具が動かないように固定する」「食器棚や家具が地震で開いて中のものが飛び出してこないようにする」などの点が指摘されており、当日も家具固定の展示もされていました。



上／段ボールベッド 中／パーティション 下／連区のパーティションとベッド

家具転倒防止支援事業を紹介させていただきます

【一宮防災ボランティアネットワーク】は一宮市市民活動センターに登録されている団体で、命を守るために家具の固定をお手伝いされているそうです。希望のお方は、下記連絡先にご連絡ください。

事業内容：一宮市にお住いのお宅の家具の固定をお手伝いします。

期間：2025年4月～2026年2月

対象者：制限はありません

費用：金具代実費負担、工事費無料

連絡先：一宮防災ボランティアネットワーク

代表 伊藤 090-4794-8863まで

